

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公開番号】特開2004-325944(P2004-325944A)

【公開日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2003-122463(P2003-122463)

【国際特許分類】

G 02 B	21/34	(2006.01)
B 25 J	7/00	(2006.01)
C 12 M	1/00	(2006.01)
C 12 M	1/42	(2006.01)
G 02 B	5/32	(2006.01)
G 03 H	1/18	(2006.01)

【F I】

G 02 B	21/34	
B 25 J	7/00	
C 12 M	1/00	A
C 12 M	1/42	
G 02 B	5/32	
G 03 H	1/18	

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月10日(2006.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】光ピンセットを用いて微小物体を処理するための微小物体処理装置であって、

光源と、該光源から入射された光からホログラムを形成する第1の基体と、前記微小物体を含む液体を保持する第2の基体とを備え、

前記第1の基体によって形成したホログラムを前記第2の基体上に保持された前記液体中で結像させ、結像させたホログラムを前記光ピンセットとして用いる微小物体処理装置。

【請求項2】前記光ピンセットは、複数の部分からなるパターンを有している、請求項1に記載の微小物体処理装置。

【請求項3】異なるパターンのホログラムを形成する基体を複数備え、該複数の基体を、前記第1の基体として、交換して用いることができる、請求項1または2に記載の微小物体処理装置。

【請求項4】前記光ピンセットを、拡大、縮小する手段をさらに備える、請求項1から3のいずれか1項に記載の微小物体処理装置。

【請求項5】前記光源および前記第1の基体を含む光ピンセット形成手段と前記第2の基体とを相対的に移動させる手段をさらに備える、請求項1から4のいずれか1項に記載の微小物体処理装置。